# SUMMER COLLEGE（サマーカレッジ） 講座内容 7月16日

文学部 環境共生学部

## 文学部

### 日本語日本文学科

11：05～11：50

**食べるザビエル**

安土桃山時代は、中国・朝鮮に加え、ポルトガルやスペインといった新たな外国勢力とも交流が始まった時代で、国際色に彩られた反面、様々な異文化摩擦も生じることとなりました。
本講義では、イエズス会の布教活動に規制を加えた「伴天連追放令」中の「牛馬の屠殺・売買禁止」項に着目し、そこに両文化の背景と差異を読み解いていきます。

講師 准教授 大島 明秀
（専門：歴史学）

13：20～14：05

**在ぐう者の言葉をばいでいでづうたん申べし**
－地域のことばが書かれる時－

「日本語の歴史」と言う場合、通常それは近畿及び（江戸時代中期以降の）江戸周辺の言語の歴史を指します。
しかし当然のことながら、九州にも四国にも中国地方にも近畿や江戸とは少し異なる日本語の歴史があります。
地域のことばはどこに書かれているのか、室町期から江戸中期までの九州の資料を中心に考えていきます。

講師 教授 米谷 隆史
（専門：日本語学）

### 英語英米文学科

11：05～11：50

***Edgar Allan Poe, Master Storyteller***

エドガー・アラン・ポー（Edgar Allan Poe，1809-1849)は、最も才能豊かなアメリカの作家のひとりです。ポーは詩人であり、小説家であり、評論家でした。特にポーの短編小説は世界中の作家に影響を与えたと言われています。この講義では、ポーの生涯とともに短編小説と詩を紹介しながら、彼の芸術性について解説します。
（講義は英語を主として用います）

講師 講師 Allan Bouarib
（専門：アメリカ文学・文化）

14：15～15：00

***Let's learn and experience intercultural communication!***

グローバル化が進む現代において活発に行われている異文化コミュニケーションに注目します。多様な言語・文化的な背景をもつ人々とコミュニケーションをする際に役立つ基礎的な理論を学び、授業に参加しているみなさんで一緒に英語を使って異文化コミュニケーションを体験してみましょう。

講師 講師 原 紘子
（専門：英語・異文化コミュニケーション）

## 環境共生学部

### 環境資源学科

11：15～12：00

**竹**

私たち日本人にとって、竹はもっとも馴染みのある植物の1つです。この竹は、中空であったり、節をもっていたりなど、他の植物にはない特徴をもっています。それでは、なぜ、竹は中空なのでしょうか？ また、どうして竹は節をもっているのでしょうか？何かしらの生物学的な理由があるはずです。この講義では、このような竹の不思議について、私たちの研究成果をもとに解説します。

講師 教授 井上 昭夫
（専門：森林生態学）

13：00～13：45

**【実験】海のプランクトン（ちりめんじゃこ）の観察**

顕微鏡を使って海のプランクトンの観察を行います。海の豊かな生き物を支えているのは目に見えないほど小さなプランクトンです。
本講義では身近な海の幸（ちりめんじゃこなど）を使って、食物連鎖の出発点であるプランクトンについて解説します。

講師 准教授 一宮 睦雄
（専門：海洋資源学）

### 居住環境学科

11：15～12：00

地域計画vs都市史トークバトル 第4弾
**『つくられたまち』**

私たちが日々暮らす「まち」は初めからそこにあったわけではありません。つくられたものなのです。では、「まち」はどのようにつくられるのか。そしてつくられた後はどうなるのか。居住環境学科で学ぶ内容の幅広さや楽しさに少しでも触れてもらえればと思い、地域計画と都市史という違った分野から「つくられたまち」について語ります。過去3年のトークバトルに続いて第4弾。乞うご期待！

講師 教授 柴田 祐（専門：地域計画学）
VS
教授 辻原 万規彦（専門：地域環境調整工学）

13：30～14：30

**【実習】住宅と建築模型**

建築模型は、実際の建築物を計画・建設する時に、説明・検討の為に作られるものです。2次元（図面）だけでは表現できない3次元（立体）を、さまざまな角度から検討することができるというメリットがあります。
今回は熊本地震で全壊した熊本最古の西洋建築物「ジェーンズ邸」のペーパークラフトを用意しました。建築模型づくりの基礎と住宅計画の楽しさを体験しましょう。
先着40名（13：00より受付開始）

講師 准教授 佐藤 哲
（専門：建築計画学）

### 食健康科学科

11：15～12：00

**“脱3日坊主”**
新たな習慣を身につけるには？

食べ過ぎや運動不足による肥満やメタボが大きな問題になっています。肥満やメタボを改善するためには、食習慣や運動習慣を改善し、習慣化することが重要です。誰もがバランスの取れた食事や適度な運動が身体にいいことは知っています。しかし、頭でわかっていてもなかなかできないのが人間のおもしろいところです。
本講座では健康な行動の習慣化について、お話したいと思います。

講師 講師 坂本 達昭
（専門：実践栄養教育学）

14：15～15：00

**体験型施設見学**

○食品の安全性：ｱﾚﾙｷﾞｰ物質を確かめる （教授 有薗 幸司）
○カラダからのサインをチェックしよう（教授 下田 誠也）
○応用微生物学の食・健康・環境
～乳酸菌を観てみよう！～
（教授 松崎 弘美）
○運動時のエネルギー代謝
-脂肪が燃えるか、糖が燃えるか-
（教授 松本 直幸）
○今の食生活を知ろう！
（准教授 吉村 英一）

※定員あり（先着順）12：45より受付開始